

2025年度
立命館大学Challenge奨学金

成果報告会

成果報告会 次第

13:00-15:00

趣旨とグループワーク説明 (10分)

グループワーク (80分)

発表 (30分)

※進行によっては随時変更する場合があります。

趣旨説明

● 成果報告会の目的

- ①採用者同士の情報交換・交流
- ②これまでの自身の活動を振り返り、
適宜軌道修正をして今後の活動に活かす

● オンライン参加の皆さんへのお願い

- ・ ZOOM表記名は、グループ番号__氏名でお願いします。例：「3__立命 太郎」
- ・ 発言しないときはミュートにしてください。
- ・ カメラの画面を「ON」にしてください。

グループワーク説明①

- ・ 皆さんの活動を踏まえ、グループ分け案を事務局で考えました。
- ・ 1グループ5～6名程度で合計80分、皆さんで進行してください。
- ・ ZOOM参加の皆さんをブレイクアウトセッションで分かれていただきます。
- ・ オブザーバーとして事務局の方が各班を回ります。

グループワーク説明②

● グループワークの全体的な流れ

(1) 役割分担の確認	3分
(2) チェックイン	7分
(3) 活動まとめスライド発表	40分
(4) グループ内グッドプラクティスの共有	20分
(5) チェックアウト	10分

グループワーク詳細説明①

● グループワークの流れ

(1) 役割分担の確認

進行組： ・ファシリテーター
 ・タイムキーパー

(もっとも回生が高い人はファシリテーター、
2人以上の場合は名前の50音順で順番をつけてください。)

発表組： ・発表者 (2番目に回生が高い人)
 ・記録1
 ・記録2

*「記録」の方は、発表する内容を記録して
「発表者」をサポートしてください。

グループワーク詳細説明②

● グループワークの流れ

(2) チェックイン (1名1~2分程度)

- ①氏名
- ②所属と回生
- ③気がかりなこと
- ④今日の成果報告会への期待

グループワーク詳細説明③

● グループワークの流れ

(3) 活動のまとめスライド発表 (1名5～6分程度)

★ポイント：

- ①成功だけではなく、失敗も含めて共有することで、自身の成長を振り返ることができる。
- ②振り返りはその後、各自工夫したことのシェアにもつながる。

グループワーク詳細説明④

● グループワークの流れ

(4) グッドプラクティスの共有（全体20分）

★ポイント：

- ①活動の中でやってよかった取り組みや工夫をできるだけ共有する。
- ②他人の共有を聞いて、疑問に思ったり活動の中で困ったことなどを質問したり、共有したりすることで、活動に対する新たなヒントが見つかるかもしれない。

グループワーク詳細説明⑤

● グループワークの流れ

(5) チェックアウト（1名1～2分程度）

① 今日学んだこと

② 次のステップ

★ポイント：

① 本日の成果報告会の振り返りをして、次の活動とつなげる。

② 最後に高め合ったお互いへのお礼も忘れないでください。

グループワーク発表説明

- 3チームをランダムで指名して、発表していただきます。

発表内容：

- ①一番共通していた取り組みや工夫
- ②一番独自性があって面白いと感じた取り組みや工夫

グループワーク開始

グループワーク発表

事務連絡

- 成果報告会アンケートについて

- ・以下のURLより回答ください。

<https://cw.ritsumeai.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20260120171848414719480>



- 26年度Challenge奨学金の募集について

- ・募集が確定しておりますが、募集開始時期を現在検討中です。
- ・引き続き出願したい方は2026年4月以降、こまめにSTUDENT PORTALをご確認ください。

記念撮影



おつかれさまでした！

2026年度も
次のステージで
challengeを続けてください！